

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 04年 3月 15日

事業所名: きらりは一と浦添校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	広く使うため体操用具等は適時片付け、机も折りたたみ式で用途に応じて設置している。	活動を屋内外に分けるなどし、十分な広さが確保できるよう配慮していく。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	送迎時には、その時に対応できる支援を行っているが安全面で気になるときがある。	送迎時に出る職員数を調整し、フロアの職員数が少なくなる際は、静かに座って行う遊びを増やし安全面に配慮していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	訓練室には視覚的教材を取り入れ過ぎやすいよう配慮したり広く使えるよう段差や死角を作らないようにしている。	スロープを必要とする利用者がいないため設置の予定はないが、設備等に不備がある際はすぐに修繕していただけるよう点検を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	消毒チェックリストを作成し消毒を徹底して行い、感染症予防に努めている。	今後も体操道具や室内の消毒、清掃をこまめに行い、心地よく過ごせる場を提供していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	MTGで目標を話し合い、週に一度振り返りを行い評価している。	今後も全職員でMTGを持ち、目標に向けた活動の設定や評価、改善点を話し合っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		アンケート内容を職員で話し合い、改善に繋げていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		公開予定。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		外部評価を取り入れられていないので、今後検討する。保護者様から頂いた声をできる限りお応えし、改善に繋げている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	定期的に職員研修を行ったり動画配信サービスやリモートサービスを使い知識や技術の向上に努めている。	zoomでの開催が多いので、時間帯によっては事業所内での受講が難しい。勤務時間内に受講できるよう出勤時間や休みに配慮していく。専門性を高めるために、今後も研修や講習の機会を作っていく。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	アセスメントシートを基に個々の発達段階を踏まえ職員全体で話し、計画を立てている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	契約時に保護者にアセスメントシートを記入して貰い、グラフに変換し分かりやすいよう可視化し職員間で共通理解している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	日々の様子や課題について全体で話し合い、一人ひとりに合った支援内容を設定している。	引き続き、学校や他事業所とも連携を図り個々の様子を情報共有し、より良い支援へと繋げていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	児童発達支援計画に沿った支援法を行い、個別に体操の支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	職員間で連携し、療育活動の共有化を図っている。	3ヶ月スパンで活動内容を決め、内容について時間をかけて立案している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	週ごとに発展していくようなプランを組み立てている。	季節ごとに内容や様々な経験ができるようプログラムを提供している。また、成長や変化が分かるよう定期的に同じ活動プログラムを取り入れている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	個別での支援と集団活動を取り入れている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	毎朝ミーティングを実施し決定事項を職員間で共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	当日の出来事や個々の様子、連絡事項などを細かく確認している。	退勤時間でMTGに参加できない職員は、メモや口頭で管理者に引き継ぎをして連絡の漏れが無いよう配慮している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	毎日記録をつけており、次回のベースアップへと繋げている。	内容を正確に記録できるよう、写真や動画・メモを活用しながら次回に活かせるようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	半年ごとにモニタリングを行い、支援プランの見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児発管が出席しているが、全職員が対応できる体制をとっている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	6		保育園や幼稚園、相談支援事業所などと情報共有や相談、報告を行い適切な支援ができるよう努めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	8	協力医療機関を設けている。	現在該当する利用児がいないため、受け入れの際には連絡体制を整えていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	8	協力医療機関を設けている。	現在該当する利用児がいないため、受け入れの際には連絡体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	送迎時や会議で利用児の情報共有を図っており、支援内容の相互理解に務めている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0		新年度へ向けて現在携わっている学校との相談は行えているが、新規の学校は相談事業所を通して情報を得ることが多いため、事業所からも発信するようにしていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	モニタリングや担当者会議の際に、療育センターから助言を頂いている。	今後も関係性を作り、助言を頂けるようにしていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6	公園などの戸外活動時に、一緒に遊ぶ機会があれば参加している。	感染症予防のため控えていたが、落ち着いたら交流の機会を徐々に増やしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6		参加できるよう計画していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	送迎時に互いの情報を共有し、共通理解を行っている。	ニーズに合わせてLINEで写真を送ったりしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	6	研修のお知らせがあれば共有している。	定期的に保護者会を開き、講演やペアトレなど企画していく。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に、保護者と確認し合いながら行うようにしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	8	0	職員間でミーティングをして支援計画を作成しており、「児童発達支援計画」を保護者と確認・同意をいただいている。	
	34	8	0	講演会のお知らせや、個別に子育てについての相談を行っている。	今後も様々なニーズや相談に、柔軟に丁寧に対応していけるよう職員全体で心がけていく。
	35	5	3	保護者会を開催し、保護者同士の顔合わせを行った。	今後も感染状況を見ながら、交流する機会を増やしていきたい。
	36	8	0	即対応を心掛け、職員間でも共通認識として話し合いを設けている。	
	37	8	0	毎月カリキュラムの予定や日々様子を会報にてお知らせしている。	
	38	8	0	個人情報利用同意書を確認し、写真掲載に関しても慎重に行っている。	フェイスブックや会報に掲載する写真は、全職員で確認している。
	39	8	0	個別に対応しており、個に合った対応をするよう心掛けている。	
	40	3	5		感染症予防のため自粛しているが、今後落ち着いたら交流の機会(ハロウィンなどの行事等)を企画、運営していきたい。
非常時等の対応	41	8	0		定期的に、避難訓練を実施し避難経路や防災マニュアルを職員間で共通理解している。今後も訓練の様子をSNSや便りにて発信し、保護者様に細かく共有していきたい。
	42	8	0	1週間通して地震や火災・不審者など様々なパターンを想定して取り組んでいる。	数回行っているが、利用児の認識付けもできるよう進めていきたい。
	43	8	0	契約時に利用児の状態をアセスメントツールにて把握し、職員全体で周知している。	
	44	8	0	保護者と連携し、完全除去で対応している。	
	45	8	0	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	モニター映像で状況の再確認を行い、再発防止に努めている。
	46	8	0	事業所に設置しているカメラを見て振り返りをしたり、職員間で関わり方を話し合ったりしている。	研修に参加する機会を作っていく。
	47	8	0	やむを得ない(利用児の危険に関わる)身体拘束等、職員間で周知徹底し、家族にその旨を伝えている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。